



幼児期の教育は人生の基礎！
未来を生き抜く力の土台をつくります。

学園長あいさつ



朝日学園 学園長
鳥海 十児

幼児期は、人間形成の基礎を培う重要な時期です。朝日塾幼稚園は、1981年の開園以来、学校法人の教育施設として、幼児教育を推進してきました。朝日学園の建学の精神は「個性を伸ばすハイレベルの教育」です。子どもは、集団の中で友達と一緒に遊び、学ぶことで、家庭ではできないさまざまな経験をし、多くを吸収します。その学びの中で自分らしさが引き出され、個性が輝くのです。昨今は、幼児を“教育する”ことよりも“預かる”ことに重きが置かれていますが、朝日塾幼稚園は、これからも園児の“教育”を最優先する幼稚園として、これまで以上に、質の高い教育に邁進してまいります。

園長あいさつ



朝日塾幼稚園 園長
永野 和子

子どもには、その子にしかない個性があり、可能性があります。朝日塾幼稚園では、それらをさらに伸ばし輝かせるために、さまざまな遊びや体験ができる環境を整えています。これからの世の中は予測不能といわれ、AIも加速的に進歩していますが、最後に必要なのは、たくましく、しなやかに生き抜く人間力です。幼児期に生きる力の土台を育み、その子の個性が輝きを放てるように、教職員が心をついにし、全力で支えます。子どもを育てることは未来を創ること。いかに時代が変わろうとも、変化にしなやかに対応しながら、未来を生きる子どもたちに必要な力を考え続けます。



幼小中高が連携する朝日学園の強みを生かし、
「個性を伸ばすハイレベルの教育」を実現します。



教育理念・教育目標

朝日学園は「個性を伸ばすハイレベルの教育」を建学の精神に掲げ、幼小中高が連携して、次世代を担うリーダーたる人材の育成をめざしています。朝日塾幼稚園では「明るく素直な子ども」「よく遊びよく考える子ども」「きまりを守る子ども」を教育目標に、子どもたちの無限の可能性を引き出すため、学ぶ力、生活の基礎、豊かな心を育てます。

朝日塾幼稚園の強み

本園には、全教職員が持つ100ページ超の「RULE BOOK」があります。これは、本園を信頼して入園していただいた保護者の期待に応えるために、園の方針を共通理解し、同じ価値観を持って園児の教育に努めるためのものです。開園以来の大切なノウハウが蓄積され、20年、30年のキャリアを持つベテランの先生たちが培った豊かな経験が高い教育水準を保ち、園児と保護者に安心感を与えています。

加えて「人は最大の環境である」との考えのもと、教員以外にも、課外授業や選択科目を担当する専門講師、養護教諭、子育て中の保護者をサポートするカウンセラーなどの専門人材が本園の教育を共に支えています。

